# 進捗報告書 (実行団体)

● 提 出 日 : 2022年 10月 13日

● 事 業 名 : 障害児やひとり親家庭のための運動支援

● 資金分配団体 : 公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

● 実 行 団 体 : 龍ケ崎市B&G海洋クラブ

① 実績値

## 【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成時期	現在の指標の達成状況	進捗
					状況
					*
障害児や困難な環境等の子供たち	①水辺の自然体験に	①地域全体で 30 人	① 2023年	●2020 年度	1
が水辺の自然体験に参加できる状態になる	参加した対象となる	(初期値から3倍)	3 月	対象児童 46人	
<u>態となる</u>	子供の数	②地域全体で 15 人		健常児 9人	
	②水辺の自然体験を	(初期値から3倍)		成人 106人	
	見学した対象となる			保護者・スタッフ等	
	子供の数			94 人	
				●2021 年度	
				対象児童 70人	
				健常児 216 人成人 110 人	
				保護者・スタッフ等	
				131 人	
				① 2022 年度	

				1.1.4.1B ÷	
				対象児童 60 人	
				健常児 230人	
				成人 82人	
				保護者・スタッフ等	
				145 人	
				② 20人	
障害児や困難な環境等の子供たち の保護者や関係者が、水辺の自然 体験について、その有効性を認識 している状態となる	①水辺の自然体験を	①地域全体で 30 人	① 2023年	① 0人	2
	見学した保護者の数	(初期値から3倍)	3 月	② 現在集計中	
	②水辺の自然体験を	②満足度調査(エン			
<u> </u>	見学した保護者の満	ドライン調査を行い			
	足度	ベースラインと比較			
		する) "			
本事業に興味関心を示す地域の	①海レクや本活動を	①地域全体で20人	① 2023年	① 28名 → 29人	1
人々が増える状態となる	見学する地域の人の		3 月	市民団体や他団体	
	数			稲敷5名、龍ケ崎JC 2名、地域	
				観光団体1名、ボーイスカウト9名、	
				つくばMDC4名、つくば学びの杜、	
				自治体など 8名	
新しい社会的距離が保たれる施設	①周知させるチラシ、	①5 回	① 2021年	① 7回	2
の中で体験者や体験団体が増加し 活動が前進していく状態となる	ポスターの配布の回		8月	5/29 プラスチックパトロール	
	数			6/11 プラスチックパトロール	
				7/21~7/25BG 塾	
				8/14 ごみゼロ	
				8/24 商業施設イベント参加	

				9/24 プラスチックパトロール	
				12/29 ごみゼロ・草刈り	
新型コロナに対応した安全な活動	①三密対策や消毒等	①三密等の対策によ	① 2021年	休眠預金での助成による倉庫建設	1
<u>となる</u>	の対応により安全に	り安全に活動ができ	8月	での参加者同士の空間の確保や消	
	活動できる	る状態		毒等による三密等の安全対策で新	
				型コロナの感染者を出すことなく	
				活動を実施することが出来た。	

<sup>\*</sup>進捗状況:1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

#### ② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み

2.概ね達成の見込み

2.アウトカムの状況

A:変更項目

☑変更なし □短期アウトカムの内容 □短期アウトカムの表現 □短期アウトカムの指標 □アウトカムの目標値

#### 3.(仟意) 活動に関する報告

今期は自治体を始め多くの市民団体を巻き込むことが出来た、子どもたち同士は年齢関係なく、上級生が下級生を教えるという微笑ましい事が多くみられました。事業のほとんどが子供たちのリピーターで、ママ友を連れて来てくれたりしたので口コミで広がっていく印象もうけました。

海ごみゼロフェスティバルに準ずる 5/29・6/11・9/25 の水面清掃では老若男女問わず集まり活動ができました。

大勢の人が集まりましたが情報が発信できていないようなので近隣地域ばかりではなく、子供活動には有効な活動なので学校へのチラシ配布なども検討してもいいかなと思いました。もっと計画的にやりたいところですがコンディション、スタッフの問題もあります。

自治体とタッグを組めるような関係性を持てるようになったので三年間で大きな前進をしてきたと思います。

今後継続できるよう協力していただける企業や地域団体などにも今回の開催を実績とし来期に繋げようと思います。

また、学習(自習)と組み合わせた企画については働いているお母さんが多い事から、こどもを預けられる場所の重要性を感じました。 8月24日の龍ケ崎市ショッピングセンターでのお祭り参加など、海ごみ絵本読み聞かせや、グッズを景品にした「じゃんけん大会」は大盛り上がりでした。

若い人が喜ぶような企画をし、牛久沼を舞台に活動する今活動が地元のショッピングセンターや祭り、受賞を機に大きく取り上げられ周知 活動(プレゼンテーションやパフォーマンス)ができたと思います。

龍ケ崎市長や市長公室、魅力創造課の面々が体験することにより、止まっていた道の駅構想が動き出すとも聞いてます。

休眠預金を活用したチラシを配布することによる幅広い層に声掛けができた。

龍ケ崎市が人件費用を 1/2 出す話も頂いており、来年に向けた取り組みを構築することが出来た。

出口戦略として NPO 設立に向けた取り組みもできたので実施したい。

道の駅構想が再び判断されたときについての協力体制の構築。

#### ③ 広報に関する報告

- 1. シンボルマークの使用状況
  - □自団体のウェブサイトで表示している ☑広報制作物に表示している
  - □報告書に表示している ☑イベント実施時に表示している ☑その他
- $\rightarrow$ 「その他」を選択した場合は記載してください(自由記述):クラブハウスガラスと助成金で設置したプレハブ倉庫に大型のシンボルマークステッカーを貼っています。

#### 2. 広報

1. メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)

(ア)2021年11月25日 茨城新聞

(イ)2022 年 7 月 7 日 茨城新聞

2022年(令和4年)7月7日 木曜日 灰 スポーツ振興賞

=牛久沼 =牛久沼

龍ケ崎市B&G受賞 といった地域密着型の営みが評価された。 といった地域密着型の営みが評価された。環境を生かした体験活動 を開発した団体などをたえる第10回スポーツを取り入れた水面清掃 といった地域密着型の営みが評価された。 クラブ」が、スポーツやレジャーを通したまちづくりに貢献権ケ崎市の牛久沼を拠点に活動する「龍ケ崎市B&G海洋

クラブでは、ボードの クラブでは、ボードの で進む、スタンドアップ パドルボード」(SUP ーサップ)やウインドサ ーフィン、カヤックの体 験活動ほか、SUPを用 いたプラスチックごみ回 収などを展開する。20 収などを展開する。20 21年度の活動には、延 21年度の活動には、延 21年度の活動には、延 21年度の活動には、延 21年度の対象加した という。健康づくりや青 クーアルーシー・アンド

# 地域密着の取り組み評価

(鈴木剛史)

士片

(B&G財団、東京)が クラブを支援する。 スポーツ振興賞は、スポーツ無興賞は、スポーツ無興賞は、スポーツでは 高。今回は22件の応募が あ。今回は22件の応募が あ。今回は22件の応募が あ。今回は22件の応募が あ。今回は22件の応募が をと日本スポーツッツーリ での行動について、選 等を負会は「地域に根差 し、誰もが参加しやすい」 と判断した。 クラブ代表の海境を残したい。未 来に牛久沼の環境を残し たい。応援してくれる人 が増えれば」と語った。 が増えれば」と語った。 が増えれば」と語った。



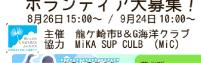
#### 2.広報制作物等

- (1)プラスチックパトロール(牛久沼クリーン活動)のチラシ作製・配布
- ② 市内のにぎわい施設で開催したカヤックペインティングのチラシ作製・配布
- ③ 当クラブのホームページへの写真等掲載
- ④ 当クラブ紹介映像の作製(JANPIA に提出済)
- ⑤ 市内商業施設での学習を取り入れたごみ拾い活動
- ⑥ クラブハウス貼付
- ⑦ BG 塾 (7/21-7/25)











この活動は茨城県森林湖沼環境税活用事業です





#### 3.報告書等

JANPIA の書式による報告書の作成

4.イベント開催等(シンポジウム、フォーラム等)

#### (ア)スポーツ振興賞受賞

公益社団法人 スポーツ健康産業団体連合会主催の第 10 回スポーツ振興賞に申請した結果、スポーツ健康産業団体連合会 会長賞を 2022 年 6 月に受賞した。

公益社団法人スポーツ健康産業団体連合会 会長賞

作品名:余暇活動は「させる」ものではなく「する」ものだ

応募者:龍ケ崎市B&G海洋クラブ(茨城県取手市)

## 受賞しました。

https://sporttourism.or.jp/pdf/10sportshinkosho\_pressrelease.pdf



(イ)海ごみゼロフェスティバル「特別賞」受賞 B&G 財団が主催する 2021 年度の海ごみゼロフェスティバル「特別賞」受賞した。

https://www.bgf.or.jp/activity/gomizero/20220207\_umigomi-award2021.html

(ウ) レジャー利用者からみた牛久沼の姿と価値

地域研究年報 2022 年

筑波大学人文地理学研究室

http://www.geoenv.tsukuba.ac.jp/~chicho/nenpo/44/06.pdf

取材を受け、取材協力いたしました。

#### (エ)牛久沼魅力発信プロジェクト発足

最大の観光資源である牛久沼、現在中断している道の駅を実現可能に向けて、牛久沼の魅力を伝えようと市民活動団体が主催する 龍ケ崎市市民活動円卓会議の中で 牛久沼魅力発信プロジェクト がスタートしました。

メンバーは市民団体各代表、龍ケ崎市 魅力創造課・コミュニティ課・市民活動センター、市議会議員2名で評議が行われ牛久沼 の魅力発信を発信するために海洋クラブ代表が選出され今後の水辺の活動が龍ケ崎市、自治体含め周知されるようになりました。 大きな目標である道の駅計画と同時に海洋クラブ水面利用と同時に、コミュニティを活性化する団体を目指す。

#### 添付資料















